

原田 栄津子 さん
宮崎大学農学部助教

キラリ!

輝く次世代の
宮崎人を応援

「中山間地域を盛り上げるために、さまざまな方向でこの可能性を研究したい」と原田さん。

干しシイタケの生産量全国2位を誇る本県で、きのこ専門の研究室が昨年4月、宮崎大学に設立されました。立ち上げたのは、同大学きのこ学教員で助教の原田栄津子さん。研究室には現在、学生3人、大学院生1人が所属。きのこの森林における役割や機能性について研究しているほか、青島に自生する「光るきのこ」エナシラツシタケの観光活用にも取り組んでいます。「本県はスギの生産量日本一。スギ林がほとんどで、きのこを育む多様な木の植生は少ないのでは」という先入観がありました。調べると天然のマイタケ、ヤマブシタケ、マツタケなどが発生する自然林が維持されている「たんす」とにこやかに話す原田さん。研究室発足からきのこをキーワードにさまざまな動きが生まれ、青島の光るきのこは、



きのこショコラも県内の菓子店に提案して開発中。商品化を目指している。

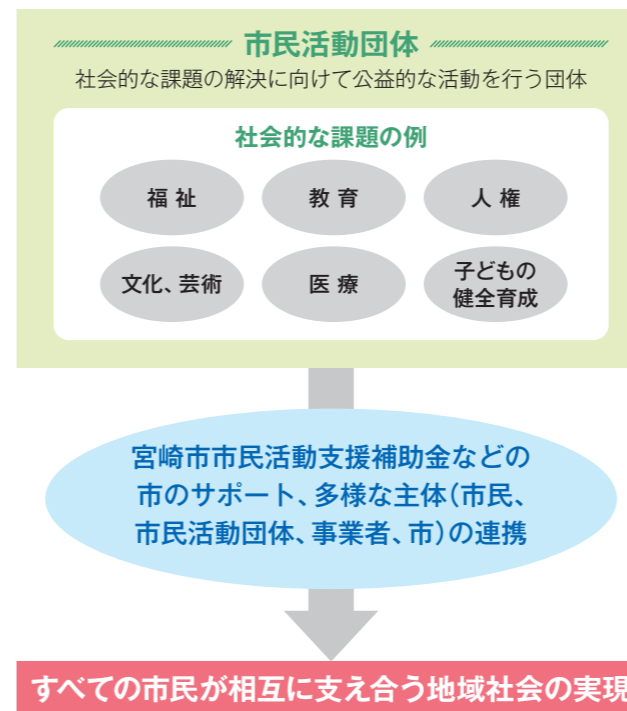
九州初のきのこ研究室！ きのこの魅力を発信

立ち入りが制限されている区域以外での展示を目標に掲げ、現在は人工栽培に成功。市の助成金を得て県林業技術センター、県総合博物館との共同研究を進めているほか、同大学工学部の協力でPR動画も作成中で、夏の公開を目指して準備を進めています。「今年の10月には、『きのこ大祭』を学生主導で計画中です。多方面で宮崎を盛り上げていきたい」。観光宮崎の新たなコンテンツが、誕生しつつあります。



「宮崎市市民活動推進基本方針(改訂版)」を策定 市民の皆さまが相互に支え合う 地域社会の実現を目指しています

「市民活動」とは、社会的な課題の解決に向け、市民の皆さまが自発的、自主的に行う公益的な活動のことをいいます。また、市民活動に取り組む団体を「市民活動団体」といいます。市では、令和2年3月に「すべての市民が相互に支え合う地域社会の実現」を目指して、「宮崎市市民活動推進基本方針(改訂版)」を策定しました。また、本方針に基づき取り組みの1つとして、市民活動団体に対し「宮崎市市民活動支援補助金」を交付し、活動しやすい環境の整備に取り組んでいます。



～補助金を活用している事業の例～

ママパパに贈る子育て支援事業 団体名 プチ・コパン

子育て支援の講座を企画・運営しています。「託児付きの産後ケア」や「親子音脳リトミック講座」などを定期開催しています。これらの講座は代表の松田葵美香さんやスタッフが実際に子育てをする中で、「こういう講座があったら助かる」という声を生かしたもので、補助金は講座の運営費用などに活用しています。



託児付き産後ケアヨガ



親子音脳リトミック講座

代表の
松田
葵美香さん
の声

「託児付きの講座はとてもニーズが高いのですが、ボランティアでは費用がかかり実現が厳しいので、補助金のおかげで開催できています。今年で活動8年目になりますが、やればやるほど子育て支援のニーズの高さを感じます。子育て世代に寄りそった支援を今後も行っていきます」

「宮崎市民活動センター」は、 市民活動を総合的に支援します。

センターでは、市民活動に関する講座の開催、相談対応や情報提供を行っています。

住所: 橋通西1丁目1番2号 宮崎市民プラザ3階
TEL: 20-8777

「市民活動を始めたいが、何をしたらいいのかわからない」「補助金の申請書類のことで困っている」など、各種ご相談に対応しています。



宮崎市民活動センター長
高妻孝光さん

問 文化・市民活動課 TEL21-1835 FAX20-1564

PROFILE

美郷町西郷出身。宮崎大学農学部時代に、きのこの面白さを知り研究の道に進む。同大学院農学研究科修了後、青年海外協力隊に参加。その後、民間の研究所に勤務してきのこを研究しながら医学博士号を取得。2年前から宮崎大学に勤務。